

$\triangle ABC$ において、 $\angle A$, $\angle B$, $\angle C$ の大きさを、それぞれ A , B , C で表す。

$$1 + \sin^2 B = \cos^2 A + \sin^2 C$$

が成り立つとき、 $C = \boxed{\text{アイ}}^\circ$ である。また、この三角形の面積を 21、外接円の半径を 10 とするとき、辺 AB の長さは $AB = \boxed{\text{ウエ}}$ で、さらに $BC + CA = \boxed{\text{オカ}}$ である。

[東京理科大・理系]